

全国首長九条の会ニュース

2020年11月30日 第13号

●発行責任者：事務局長 鹿野文永

●連絡先：〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-7 神田中央ビル 303 九条の会気付 ☎03-3221-5075
fax03-3221-5076 メール：sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp 口座番号 00190-4-635731（全国首長九条の会）

全国総会延期で、共同代表がアピールと活動方針

コロナ感染拡大の中で全国総会の延期を決め、共同代表連名の、「安倍政権と対峙してきた9条改憲NO!の運動に確信を」のアピールと「全国首長九条の会」のこの1年の推移と当面の活動方針」をお送りすることにしました。国会では、自公や日本維新の会などが執拗に憲法審査会の開催と国民投票法「改定」案の採決を求め予断を許さない状況が続いています。是非それぞれの地域で九条の会などと連携した取り組みを強めることをお願いするものです。

今号は、元神奈川県平塚市長の大藏さん、元福島県霊山町長の大橋さん、元兵庫県福崎町長の嶋田さん、元茨城県東海村長の村上さんの投稿です。

演劇鑑賞会から得たもの



元神奈川県平塚市長

大 藏 律 子

私の故郷である鹿児島県の東シナ海に面した松林には、万世空港という

日本軍最後の特攻隊基地があった。低空で離発着する戦闘機の爆音に小学校入学前の私はおびえていた。第2の古里になった平塚市は海軍火薬廠のあった軍需産業都市で、中心市街地の大半を戦火で焼失したまちである。私は二度と戦争に繋がりにたくない一念から、1978年の第1回国連核軍縮特別総会への署名運動に奔走し、生協代表団の一人として国連傍聴に派遣された。その後、「母と子の原爆展」を開き、仲間達と「核兵器廃絶平和宣言都市」を求めて議会への請願行動を起こして実現した。それがきっかけで市議会議員を4期、市長を2期務めた。現在私は市民演劇鑑賞会の存続に奮戦中。

コロナ禍の今、日本の劇団・創造団体は瀕死の状況にある。ヨーロッパでは学校・病院と並んで劇場は人間にとって必要なものと認識され、ドイツの文化相は「あなた方は生命維持に欠かせない。私たちはあなた方を見放さない」と言って、約6兆円の緊急支援を組んだ。対する日本では、ようやく文化庁の第2次補正予算

に560億円が組まれたが給付までのハードルが高く、緊急支援には遠い状況。鑑賞会では「演劇は生きる力です」と、劇団支援の緊急カンパと自らの会員維持への取り組みに懸命である。それは営利を目的にしない優れた演劇文化を守るためであり、劇団の表現の自由と国民の言論の自由を守るためである。私たちは万全なコロナ対策を取って戦争中の出来事を内容とする「旅立つ家族」と「センポ・スギハアラ」の公演例会をやりきった。

この取り組みを通じて“人間生存の原点は日本国憲法9条にある”と、私はあらためて胸に刻んだ。

9条を誇りにして

元福島県霊山町長

大 橋 芳 啓

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から10年

となります。途方もない時間を費やす事故処理を物語るように骨組みだけの建屋と、荒涼とした現地の風景に原子力災害の恐ろしさを強く感じさせます。そして、私たちはヒロシマ、ナガサキの惨事を重ねます。しかし原爆投下は戦争です。

今年10月、核兵器禁止条約を批准する国が50カ国に達し21年1月22日に発効します。核廃絶への道筋が開かれましたが日本政府



はこの条約の緒につくことさえ拒んでいる現状です。「核攻撃で甚大な被害を受けた世界で唯一の国」日本が当初から先頭に立って廃絶を唱えていれば、北東アジアの平和へ大きく貢献していたでしょう。

私が心から信頼し永いお付き合いをしている先輩がおります。「日本に生まれてよかった」としみじみと語ってくれました。太平洋戦争が終わったあと、日本の近くで二つの大きな戦争が勃発しました。朝鮮戦争（昭和25～28年）とベトナム戦争（昭和35～50年）です。659万人とたいへんな数の犠牲者を出しましたが、戦争した国々と犠牲者数を見た時、日本の名前が無いことです。朝鮮戦争の頃はまだ日本は連合国（アメリカ）の占領下にあり、朝鮮に動員されてもおかしくない状況でしたがアメリカでさえそれは出来ませんでした。日本は軍隊を持たない、戦争をしないと決めた憲法9条があったからです。

憲法を守らせる国民の弛まない運動で9条が力を発揮し続けてきたわけです。日本の政府も9条を盾に派兵を断れたのです。国民の誇りです。「このままでいきたい」先輩は言います。

いま菅内閣は官邸主導の政治を強行し、隠蔽・捏造のアベ政治の路線を突っ走っています。改憲への固執も同じです。私たちは安保法制を廃止し、9条を誇りとする政治を築き、引き継ぎたいものです。

近畿初の9条碑を建立

元兵庫県福崎町長
嶋田正義

5年前の町長選挙で20年勤めた役場をやめました。私は「憲法を町政に活かす」スローガンを掲げて町政をすすめました。

5年前の町長選挙は「憲法を町政に活かす町政を継承発展させる」のか、「流れを変える」のかが争点となりました。告示直後から県警が継承発展を目指す候補後援会が発行した「後援会だより」を違反文書と決めつけて、そのコピーを持って不当捜査に乗り出しました。不当捜査は時効が成立する3年間続きましたが起訴者は出ませんでした。

不当捜査を忘れないためと再発を防止する目的で不当捜査の碑を昨年の12月10日に建立しました。南面は捜査関連とし、北面に憲法9条を刻みました。9条の碑は近畿圏では初めて

と聞いてびっくりしています。

不当捜査については『闘いの軌跡』を2年前に発行しました。

今年5月「福崎町長選挙の不当捜査をやめさせる会」の活動を終始支援してくださった日本科学者会議会員の茶畑保夫氏が「独立警察監視機関と公職選挙法—福崎町長選挙介入・不当捜査事件に学んで—」を刊行されました。憲法違反、法違反の不当な捜査を監視する独立機関の必要性を訴えられています。

12月15日に記念集会を開くことにしていましたが、コロナの第3波が予想されるので残念ながら延期することにしました。

めげずに参りたい



元茨城県東海村長
村上達也

大統領選でのトランプ、共和党支持者の狂態をみてアメリカ民主主義の実態を知った。でも我等日

本人と違ってリーダーも民衆も主張は明解。

翻ってこの国の首相は就任後初国会の答弁は官房長官時代お得意の「全く当たらない」「お答えできない」「コメントは差し控えたい」を連発。日本学術会議員任命拒否問題では80回にも及ぶ答弁拒否とか。しかも理想の社会像や理念もない、言うは一つ覚えの「自助、共助、公助」、就中「自助」の強調。「雪深い秋田の農村から集団就職で（？）都会に出、国の頂点に立った」と自ら「立志伝」を喧伝、羞恥心もない。一国を率いる器でない。アメリカはトランプを摘出した、方や瘤が肥大化した。

首相答弁を聞き当然支持率は落ちると思いきや、11月17日の「朝日」朝刊を見てガックリ。内閣支持率は前回調査より増え56%とか。国民の資質は落ち、この国の精神的貧困は極まれる。だが待てよ、滝川事件、天皇機関説事件は学問、思想弾圧の象徴的歴史だが85年も前のこと、そこが出発点の論では今の人たちに訴求できるか。私が20歳代だったら秩父事件、加波山事件のころの話だ。どうしたら今の人に分ってもらえるか。憲法前文は「そもそも国政は国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し云々、これは人類普遍の原理であり云々」と言っているが、前文から出発する根気が必要なのかも知れない。

